

# にいがたの くらしと自治

2026年6月号

2026年6月15日



▲関川村鷹ノ巣の吊り橋から眺める荒川の清流(6月7日)

## にいがた自治体研究所

〒950-0901 新潟市中央区弁天3丁目3-5 新潟マンション305号

TEL 025-240-8645 Fax 025-240-8646

e-mail: njitiken@yahoo.co.jp

「にいがた自治体研究所」のホームページへ⇒



# JR 米坂線 早期復旧をめざして リレートーク

2026年6月7日 村上市荒川地区公民館

## <野沢達雄(司会;米坂線早期復旧と地域活性化を考える会幹事)>

本日の「リレートーク」の司会をつとめます、米坂線の「会」幹事の野沢です。  
最初に、自己紹介を兼ねて一言、お願いします。

## <斉藤郁栄さん(村上市在住、米坂線を撮り続けているアマチュア写真家)>

私は富山からお嫁に来まして、荒川町の素晴らしい自然や米坂線の写真を撮影してきました。春は新緑、秋は紅葉、冬は雪。米坂線はトンネルをくぐると鉄橋がある。そして目の前にまたトンネルがあるんですね。そして、ものすごく綺麗な紅葉。米坂線の列車の一番前にかじりついて見ていました。毎年毎年それを続けてきたのです。だから乗れなくなったことがどれだけ寂しいか。この会で、復旧のことをやっているってということで参加させてもらいました。私の撮った写真とかも使っていただいて、いろいろやっています。



## <小山千寿子さん(鷹ノ巣温泉の老舗旅館「鷹ノ巣館」女将)>

関川村で温泉旅館をしています。鷹の巣館の小山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。



私どものお客様はだいたい 50%の方が関東圏のお客様。そして 20~30%の方が新潟県内のお客様、その他は全国と海外からのお客様で、非常に鉄道を使うお客様が多い宿だと思っております。特に「大人の休日倶楽部」とかそんな時期になりますと、ほとんどの方がJRでお越しになります。この方たちは割とよく鉄道のことを知ってらっしゃるので、いまは代行バスに乗って来られる方が多いです。海外からは今、ほとんど坂町駅から送迎させてもらっております。これからも米坂線のことを一緒に復旧も含めて考えていきたいなと思っております。

## <江本一男さん(NPO 法人えき・まちネットこまつ理事長)>

お招きいただきましてありがとうございます。山形県の川西町、米沢の北側に駅でいうと羽前小松という駅がございます。1982年に国鉄から無人化という宣告を受けて、町民がそれに反対して町が国鉄から管理委託・管理運営を任せられて、町の資金で人を置いています。2020年に「業務管理組合」が廃止になって「NPO 法人えき・まちネットこまつ」が受託していますが、このNPO 法人の理事長をやっています。今年3月までは地元の置賜(おきたま)農業高校で教鞭をとっていましたが、今は完全に離れましてNPO 専属で頑張っております。



去年は「テクテク100」ということで、米沢から歩いて坂町駅までみんなでリレーしようと、お一人だけ約100キロ歩き切った方もいらっしゃいます。その時、坂町駅で皆さんに歓待をいただいて、最後は涙が流れるような達成の宴会をやっていただきました。その時の感動は心に蘇ります。

## <野沢>

「テクテク 100」に私も参加させてもらい、小国から金丸までの 9.5 km歩いてきました。米坂線の鉄橋は、いろんな色の鉄橋があります。今年米坂線は、米沢駅～今泉駅間が開業 100 周年。金丸・小国間が最後に繋がって 90 周年の記念すべき年です。今年の「テクテク 100」は、坂町と米沢の両方からスタートして、2 日目に小国で合流するっていう計画です。

## <江本>

今年は坂町班と米沢班に分かれて、2 日目の午後2:00 頃に小国で合流して、周年のお祝いをしよう。10月10日と11日に予定しております。東京のポールウォーキングの会が参加したいと。

こういうイベントをやることによって、全国・全世界に米坂線というローカル線があって、その沿線の住民がこんな情熱を持って復旧を待ち望んでいることを表したいので、ご協力をよろしくお願いします。

## <野沢>

桜井さんのお話の中で、「鉄道の社会的価値を担うのは住民の皆さんですよ」とありました。本当に、肝に銘じなくてははいけません。できることは何でもやる。すごく大事だと思います。

地元の人口が減っているなので、住民だけで鉄道利用をなんとかしようというのは限界に来ている。やっぱり、外から来てもらうというのもすごく大事だと思うんです。

小山さんは、積極的にお客さんから署名してもらっているようですが、その辺のお話を。

## <小山>

お客様は非常に関心が高いです。「(米坂線は)いつ動き出すんだろうね」とか、「また電車に乗れるだろうか」なんておっしゃる方、割と多いですし、JR をご利用になるお客様が多いので、署名にはだいたい八割方、お客様が書いてくださり、とても嬉しい話です。

電車を利用される方は、やはり景色のいいところを走る列車に乗りたいとおっしゃる方がいらっちゃって、特に越後下関から小国までの間を乗ってみたり、その後はまたちょっと車で移動したりなんていう方もいらっちゃいますし、米坂線は観光としてはとても魅力のある線路だと思っています。

## <野沢>

米坂線は、磐梯朝日国立公園の中を走っています。まさに鷹の巣館さんは、磐梯朝日国立公園の中にあってどんなに美しい景色が見られるのかお話しください。

## <小山>

ありがとうございます。国立公園の中というのは建物を建てるのにすごく制限がありまして、高さは何メートル以上はダメだとか、色合いはもうこれ以上はダメだとか、建ぺい率といって敷地内はどのぐらいで留めなさいと、非常に厳しい規定があります。だから、一度作ったらもうあまりいじりたくないようなところですけど、ただ景色は本当に綺麗、素晴らしいですね。自負しているのは、荒川の流れるは本当に美しい。荒川溪谷の景観は「日本一」というような賞も何度もいただいていますけど、その美しさの中でも私のところの目の前の溪谷美、あれは本当に素晴らしいと思っています。

## <野沢>

私たちの会のカレンダーの写真の大半は、斉藤さんの写真です。四季を通して素晴らしい写真です。

#### <斉藤>

鉄橋の写真は、越後片貝。国道からちょっと外れないとこの撮影ポイント行けない。冬の景色も良いのですが、積雪があって怖くて行けません。

#### <小山>

米坂線が動いてた時に、蛍が見える場所があって、ちょうど 8 時(20時)頃に米坂線が上り列車と下り列車が越後下関駅で行違う。ちょうど蛍が出るのが 8 時ぐらいなので、その場所へ行くと、「カタコト、カタコト、カタコト」というレールの音が聞こえてきて、そして「ポワーン」という感じの光が「パワー」という感じがして、カタコト、カタコトという音が聞こえて…。あの景色もすごく綺麗です。復旧したらぜひ皆さんもご覧ください。

#### <江本>

実を言うと私、叔父が新潟鉄道管理局にいたので、SLの時代は米坂線に乗って、羽前小松駅から新潟駅まで行ったんですね。小さい時の記憶では、小国を出ると「早く窓閉めろ！」みたいな感じで、トンネルに入ると煙が入ってきて、息もできないような感じで、トンネルから出たらバーツと溪谷が広がって、また溪谷。山形県側としては赤芝あたりが綺麗なのかな。逆に米沢から今泉まで、今頃の時期、田んぼに水が張って列車が田んぼの水面に映るとか、それが夕日に映えるとか、あとは稲刈りの時期。あの茜色に染まった田んぼの中を、列車が走るロケーションも意外と人気のある場面だと思います。

#### <野沢>

去年「テクテク 100」で関東方面から参加された方が、「食」への関心がすごく高くて、地元のおいしいものを食べたいと。小国の道の駅で、みんなが食べるように花こんにゃくとか山形らしいものを食べていたのです。米坂線の活動に関わるようになって、坂町駅周辺にも美味しいラーメン屋さんとか、私が大好きなコアラ焼きとか、食べ物の魅力をそれぞれ村上、関川、小国でちょっとアピールしてもらえますか。お酒でもいいです。

#### <斉藤>

お酒は、村上だと「メ張鶴」とか「大洋盛」とか、美味しいお酒ありますよね。もっといっぱいあると思います。食べ物も、坂町駅前だと「憩(いこい)食堂」さんのラーメンは美味しいです。野沢さんは、コアラ焼きのプリントTシャツまで作りました。

#### <野沢>

月1回程度、役員会をやっていますが、この時必ず憩食堂でラーメンライスセットを食べた後、役員会に参加しています。

#### <小山>

一番の自慢は、お米です。やはり皆さんもお米食べていらっしゃると思いますけど、うちの関川村は米自慢の人が多くて、「俺のコメ食ってみろ」ぐらいの勢いで話される方ばかりです。

#### <江本>

私、NPO の事業で上野とか仙台とか、フードコートに行っているいろいろ販売します。山形産で何が売れるかということ、やっぱりさくらんぼと米沢牛、これが出ないとなかなか東京の人は飛びついてくれなくてですね。あとワインとお酒もですけど、やっぱり飲んでもらうには飲食業の資格が必要だし、今度は瓶で売るには何だろう。酒造販売かな。酒類販売の資格が必要なので、酒売るもちょっとあれなので、私的には米沢牛と、あと芋煮と卵、この 3 点セットで攻めていきます。

2 月に仙台で全国弁当祭があり、バイヤーの方が村上だと「カモメ弁当」ですよ。あとうちの町の「カリスマ」というレストランが牛肉使った弁当、これを出したんです。「駅弁」と言うと JR が「俺たちはそんなの認めてねえぞ」となるんで、「駅前弁当」と呼んで。どっかでその「駅前弁当」のフェアをやるんじゃないかって考えを持っているので、ぜひ下関駅前弁当とか何かあるのであれば、あとで募集しますので、どこかでやりましょう。

### <野沢>

いや、あの、楽しいですね。トークしていると、こんなこともできるんじゃないか、あんなこともできるんじゃないか。県境を越えて話し合うのは、いいなと思いました。

役員会の中では、若い人たちとの交流の中で、小中学校生にも参加してもらえたらいいんじゃないかって。「早期復旧」のぼり旗は、米坂線とか地元の風景を絵にして、例えば中学校の美術部員の皆さんにちょっと絵を描いてほしいと参加を呼びかけたり、うまいければ自分の描いた絵がどこにとかあって、あちこちにのぼりが立っているとか、そんなこともできればと。

皆さんの中からも、どんどん手を挙げてアイデアを募集します。

### <江本>

皆様のところにお配りしたペーパーの「クラウドファンディング」というのがあったと思うんですけど、なんでこんなことを考え出したかということ、陸羽東線だとか西線だとかっていう歌が結構ヒットしたんですね。で、「米坂線慕情」とか「米坂線愛歌」とか考えた。

最近、外国の方が日本に来て、盆踊りに参加してすごく喜んでいて。盆踊りがブラジルとかに行くとすごい話題になって、みんな輪になって踊っているという話を聞いて、「あべあいこ」さんっていうシンガーソングライターの方と話したのです。そしたら「歌唱米坂線音頭」というのを作ったらいいんじゃないかとなって、米沢に有名な民謡の一家があるんですけど、そこと関川村の田村優子さんと、あべあいこさん、小国の風とタンポポっていう 4 つのグループで力を合わせて音頭を作り、振りもつけて DVD に録音して売るために、お金が必要だということで、クラウドファンディングをやったんです。そしたら昨日、78 万までバーンと集まったんです。

例えば坂町駅前でもいいし、小国駅前でもいいし、米沢駅前でもいいから、その歌をみんなで歌って踊って、小学生とか幼稚園生とか来てもらって、イベントを組む。縁日とかやれば人を集めるきっかけにはなるんじゃないかと。歌は、今たまたま民謡一家の一番演奏ができる人が腕骨折しちゃって、演奏できる状態にないのでおそらく 8 月頃に録音できると思います。

そうになったら、できれば坂町とか皆さん来ていただいて、練習して盛り上げて、高校生や子どもたちも来てもらうというようなことで、やっぱり仕掛けないとダメですよ。もしそういう機会が来ましたらよろしくお願いします。

### <小山>

今、新潟県が「ゴートゥーラベル」事業をやっています。温泉旅館に泊ると、その旅館に 3000 円の補助が出るというもの。お客様の利用料がその割引されます。7 月 17 日までだったと思います。楽天とかじゃらんとかを通してお申し込みいただくんですけど、それが終わると関川村で宿泊券 3000 円プラス飲んだり食べたりできるような 2000 円券をつけたものが始まります。ぜひぜひこの機会に関川村に皆様お泊まりいただきますよう、お願いいたします。

#### <齊藤>

署名をしてくれた人に。米坂線の名刺大の写真をカードケースに入れてお配りしています。

署名してくれた方が「ありがとう」と受け取ってくれて、結構若い人が喜んでいる。署名って頼まれれば、ただ「署名した」で終わっちゃうのですが、そうならないように、むしろ署名をきっかけに米坂線の復旧運動に手を貸していただけたらとか。百人に一人でもそういう人が生まれればと。子どもが好きなので、写真を差し上げると、とても喜ばれる。そんなことも新潟駅で署名活動した時にありました。

#### <野沢>

今年のお盆は間に合わないかもしれないけど、来年の盆時には「米坂線音頭」で踊りましょう、皆で。ということで、素晴らしい方針が見えてきました。トークはここまでにします。



リレートーク参加者；左から、野沢達雄氏(司会)、齊藤郁栄氏、小山千寿子氏、江本一男氏